

全体運

# 鑑定書

七海様

2027年〇月〇日

占いの秘書



七海さま、いまはとてもお辛い時期ですね。心身の重たさを抱え、出口の見えない霧の中にいるような心境でしょうか。その苦しみを抱えながらも、こうしてご相談くださった勇気に敬意を表します。あなたの抱える不安を丁寧に読み解き、いま進むべき道のりについて一緒に見てまいりましょう。

結論からお伝えしますと、今は無理に何かを変えようと舵を切る必要はありません。現状の不調は、あなたという舟が深い場所で濾過を繰り返している時間です。運気の底といえるような閉塞感は、長くは続きません。来年には新しい流れが巡ってきます。今はただ、ご自身を慈しみ、停泊する時間を大切に過ごしてくださいね。

四柱推命の観点から、現在のあなたの星の配置を読み解いていきましょう。いま現在、あなたには「傷官」という星が巡っています。これは感受性が鋭くなり、繊細な思考が内面に向きやすい時期です。自分自身の器を修繕し、不要なものを削ぎ落とすようなプロセスにあります。

そのため、体調や気力に波が生じやすく、自分を責めてしまいがちになるのかもしれませんが。さらに、今年の年運には「比肩」が巡ってきています。これは自己



と向き合い、独立心を強めるエネルギーですが、傷官の繊細さと重なることで、周囲との調和よりも孤独な戦いを選びがちです。

今はまさに、静かに自分を見つめ直すための期間なのです。しかし、星の巡りは停滞し続けることはありません。来年には、豊かな実りと心の安寧をもたらす「食神」が巡ってきます。これは霧が晴れ、陽の光が射すような転機となるでしょう。

これからの日々を、どのように過ごしていくか。いくつかの選択肢を羅針盤としてお示しいたします。

一つ目は、現状維持を肯定することです。今の気力のなさは怠慢ではなく、必要な休養です。何もしない時間を、自分自身を濾過するための尊い時間だと捉えてください。焦って無理に動こうとせず、ただ静かに舟を止めておく。その勇気が、回復への一番の近道となります。

二つ目は、意識を内面から少しだけ外へ向けることです。比肩のエネルギーは、内にこもると熱を帯びて苦しくなります。ほんの少しだけ、好きな音楽や心地よい香りに触れ、外の世界の柔らかな刺激を取り入れてみてください。器に新鮮な水を通すように、心に小さ



な隙間を作ることが大切です。

三つ目は、未来への希望を具体的に描くことです。来年、食神が巡る頃には、心に余裕が戻ってきます。その時に何をしたいか、どんな景色を見ていたい。手帳に書き出す必要はありません。ただ心の中で、穏やかな風が吹く情景を思い浮かべるだけでよいのです。

未来を信じる力は、今という荒波を乗り越えるための浮き輪となるはずです。

以下は古来の象意に基づく開運の指針です。いまのあなたは、水面を漂う舟のように、流れに身を任せることが最も理にかなっています。色で言えば、淡い青や白といった、心を鎮める色が味方をしてくれるでしょう。数で言えば「六」を意識してみてください。

無理のない範囲で六つの深呼吸をする、あるいは六分目までコップに水を注ぐといった小さな動作が、運気の巡りを整えてくれます。方位については、北を向いて休息を取るのが良いとされています。今の痛みや不安は、必ずや次への糧となります。

焦る気持ちを一度手放し、ご自身の内側の声に耳を傾けてあげてくださいね。